

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170600227		
法人名	株式会社 東洋測量設計		
事業所名	グループホームふれあいの里たちばな		
所在地	佐賀県武雄市橘町大字片白346番地		
自己評価作成日	平成 31年 3月 24日	評価結果市町村受理日	令和2年3月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成 31年 4月 10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一番は広い敷地面積であるゆえに解放感が得られゆったりとした気持ちになれますし入居者様も落ち着かれます。又引っ越しが遅くなりましたが新GHの方へ近日中に引っ越す事になります。どの事業所も人で不足で当ホームも例外ではありませんが40代~70代と活躍し頑張っておられます。職員さんに支えられ入居者様の支援に日々力を入れて下さっています。入居者様お一人様々が力を発揮しつつマイペースで暮らして頂けるようように努力しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設より13年経過したホームは、広い同敷地内に新しく移転する予定である。ホームの周辺は緑豊かな環境にあり、敷地内には桜の木もあり、春には花見を楽しまれている。古民家を改修しており、家庭的な雰囲気、適度な段差や一部屋一部屋違う間取りで個性があり、過ごしやすいように工夫されている。また、近所の方から野菜の差し入れがあるなど、旬の野菜を使った食事や、季節行事に合わせた献立など、食についても楽しみなものとなるよう配慮されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内に2ヶ所掲示されています。職員会議の折認識しておられるか随時尋ねています。全職員に理念の浸透は正直出来ていませんので今後も取り組んでいく必要があると思います。	玄関とフロアに掲示し、一人ひとりの職員が理念を確認し、業務に活かせるように取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の中で事業所の役割は進行中と思われれます。例えば橘小学校へ民生委員様を仲介として校長先生、教頭先生と会いGH訪問の計画が出来ました。	近隣の方から野菜の差し入れや日々のあいさつ等、日常的に交流されている。小学生やボランティアの訪問等、ホームに足を運ぶ機会は減少している。	地域の方が参加できるホーム行事の開催や、ボランティアの受け入れ等の取り組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	正直出来ていません。勉強会の開催等取り組めていませんしイベントへの参加も案内等含め取り組むべき課題です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な開催は出来ています。参加して下さった方々の意見は議事録にまとめ改善点、提案の実践等記録し全職員に回覧し報告し印後保存しています。ご家族様にも郵送し報告。今年も年1回ではありますが、日曜日に開催日を設け大勢のご家族様が参加して下さい、昼食もご一緒に下さいました。	2ヶ月に1回開催し、介護相談員や行政の参加もあり、現状報告や相談等が行われ、会議録は家族へ送付したり、職員間で共有し、サービス向上に活かせるように取り組まれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括センターへの相談、報告また依頼等力をお借りしています。又プロジェクターをお借りしてビデオレターを楽しむことが出来ました。	入居者の相談や問い合わせ等、必要に応じて協力できるように関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	まず勉強会、研修を通し知識を共有し入居者様々々にとってのケアを目指し拘束をしないケアを目指しています。	身体拘束は行っていない。年2回、外部・内部の研修や職員会議などで、全職員が理解を深められるように取り組まれている。言葉による行動制限についても、気になるときは職員と話し合をするようにしている。また、日中の玄関施錠は行わないなど、身体拘束に頼らないケアの実践に努められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行っています。また管理者が個人的にふさわしくないケアをしている職員には直接話し合いを持ち(他の職員同席の上)改善を図っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様の中には後見人制度を利用の方もおられ職員は知識の幅は違って理解もは出来ていると思います。又定期的に手紙、電話にて互いに情報の共有に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム長が契約に関して説明を行っていませんし何が一番ホームに望まれる事なのかをお聞きできるように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様、ご家族様には随時ご意見、お気持ちなどをいつでも何でも話して下さい。意見は私たちにとっても成長出来る一つの機会ともなりますとの言葉を出していますし聞いた事柄は上司に報告し改善を取組んでいます。	面会時に、意見や要望を聞いたり、生活状況を手紙で報告するなど、意見を言いやすい雰囲気づくりに努められている。意見や要望は、業務に反映できるように取り組まれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	直接代表者と会う機会がありません。管理者は職員会議又個人的に意見を聞く機会を設けていますしその意見を施設長に報告し施設長が社長と相談し指示があります。	職員会議を月1回行い、意見を言いやすい雰囲気をつくられている。個別にも意見や提案を言う時間をつくり、業務へ反映できるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の給与の見直しを図り努めて下さっています。職員の意見を聞きそれに応じた返事は残念ですが戻って来ません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者の考えは、管理者研修、実践者研修のみとの言葉がありました。GHではホーム長自身が学ぶ手本を示し個々の職員さんに勤務を調整しその機会を設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者の取り組みは目にしておりません。管理者もホーム内の事で目一杯でその域には達していません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まず顔見知りになり互いに受け入れて頂けるよう雰囲気作りに努めています。笑顔、ゆっくり話す、肝心な事として、何が一番心配なのかお気持ちを汲み上げ安心して頂けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	問い合わせ、相談、ご見学の折ご本人様、ご家族が一番困っている事を優しく率直にお尋ねしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GHは選択肢の一つ、この場所が本当にご本人様、ご家族様のお気持ちに添う所なのかを話し合いもっと別な選択肢の方がと感じるなら率直な意見を話すよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	GHの施設の特色を生かしたいと思っています。出来る事はして頂き出来る事に喜びが持てるように支援していきたいものです。 例・配膳、下膳テーブル拭きタオル畳み等一緒に行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出、外泊、面会の機会を多く持って頂き互いにご家族様を支援していきたいので力をお貸し下さいとお願いしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全ての入居者様には支援出来ていません。一部通いなれたパーマ屋さんにご家族様が定期的に出かけ関係性を続けておられます。他の入居者様に関しても支援していく事は課題です。	家族の協力を得て、馴染みの場所へ行ったり、市のサービスであるタクシー券を利用し、墓参りへ行くなど、関係が途切れないような支援がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様各々の個性もあり会話が繋がらない部分も多く難しい部分ではありますがずっと以前からの知り合いのような関係を持たれる方も見られ職員は見守りながら心地良さ維持できるように距離感も大切に支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時には「何かお困りの事や又当施設に関しての意見はいつでも何でもお話し下さい」との言葉を残すように努めていますし必要な時は連絡をしてご家族様とお話しております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	必ずご本人様の声をお聞きしていますし気持ちの代弁すべてが共有できるわけではありませんが汲み取れるようにケアマネをはじめ努めています。	一人ひとりの希望や意向を聞き、日常生活に活かすように支援されている。その他にも、表情をくみ取ったり、生活歴を把握することで意思表示ができなくても思いを把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面接から回を重ねるごとに話しをしながら聞き取っていただけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活状況を見ながら話し合いコミュニケーションを図りつつお一人様々を知りたいとの思いで取り組んでおります。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様との話は出来ている様に感じますが、チームケアとして職員個々の意見が十分ではなく(言う人、言わない人)課題は多いですがサービス担当者会議の開催等で意見も出ています。	本人・家族の意向を聞き、介護職員の意見を取り入れ、現状に即した介護計画が作成されている。また、介護計画を見ながら記録ができるようにするなど、介護計画を意識できるよう工夫されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録に全職員が目を通すように努めていますしケアマネは必ず記録に目を通したり申し送りノートも見ながら気づきを得、ケアの見直し、ケアプランの見直しを図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の流れ、季節、要望を聞きながら天候次第でテラスで食事したりタクシーを利用し外出したりしてGHから飛び出すことを意識しました。(H30年度に武雄市では「お出かけ無料券 ¥10,000発行されました)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	すべての入居者様への支援には及びませんが個性、趣味を考えて参加できる行事には支援できました。(公民館での文化祭出展)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診、受診、状態変化時の上申など密に連絡を取り安心して生活できるように支援しています。	かかりつけ医を受信する場合は家族送迎ではあるが必要に応じてホーム支援も受けることができる。他科受診についてはホーム支援を行っており、状況や必要に応じて家族にも協力を得られている。また、家族にもこまめに報告や話し合いをして、安心して適切な医療を受けられるように支援がなされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	GHには看護師が居らずDSの方の看護師に相談したりHPの看護師に相談したりして入居者様のご状態をお話しし支援を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供(介護サマリー)入院中の症状伺い退院に向けてのソーシャルワーカー、Nsとの話し合いを密に持ち早期退院に向けて努力しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在個々の入居者様、ご家族様と説明の上終末期に向けた方向性の聞き取りを行っております。又これで終わりではなくご状態に応じてその都度話し合いを持ち方向性を定めていく予定です。	入居時の説明と、状況に応じて、その都度、状況を家族へ伝えている。また、家族は医師から直接状態説明を受けることができ、方針を決めて支援されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員に周知徹底が出来ているとは思えません。訓練の回数を増やし身に付けていくよう努力が必要。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は、この2年全く出来ていません。事業所としての責任を果たせていません。新ホーム入居時後警備会社と連絡を取り実行していきます。	避難訓練は行われていない。火災以外の災害においても同様で、行政、地域の方との協力体制や避難経路など、職員周知はこれからである。	年2回、夜間想定を含めた定期的な避難訓練の開催が望まれる。また、職員への周知と、地域住民との協力体制づくりに向けた取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	100%の支援とは言えませんが理念を頭に置き個性を理解し人を否定することなく気落ちされない声掛けに努めています。	言葉遣いで気づくことがあれば、その都度、指摘し改善するように取り組まれている。排泄や入浴介助では、声掛けの仕方や露出を少なくするなど、プライバシーを損ねないように配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉が少ない方、又の迷いの多い方には選択(2つに1つ)して頂き自分の気持ちを表して頂けるように支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務の流れになってしまう事もあるが基本的に個々の入居者様の願いを大切にペースを崩さず支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪の毛のセット、洋服など要望を聞いておしゃれを楽しめるようにしています。また食べこぼし等で衣類が汚れた時も気持ち良く過ごせる様に気付きを大切にしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の提供にも彩りを添え楽しめるように季節感を取り入れまた月ごとの行事食にも工夫を凝らしています。年々ともに手伝える方も少なくなってきましたが出来る部分を發揮して頂いています。	配膳など入居者ができることは一緒に行っている。また、季節行事や誕生日には行事食を提供し、食事を楽しめるように工夫されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の把握、好みを知る参考、水分量などをチェックし少ない方にはウインダーゼリー等も提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で出来る方には促し介助の方には声掛けし清潔保持に努めています。又曜日を決め義歯をホリデント洗浄しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人様の声、様子、臭いも含め排泄のタイミングが合うように介助に努めています。現在日中布パンツの方(3名)紙パンツ+パット(4名)オムツなし。	排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄できるように支援されている。バルーンを留置している入居者への対応もされており、一人ひとりの排泄状況に応じて支援できる体制づくりがなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、食事の工夫、ヨーグルトの提供をしながら薬に頼らないようには努力しています。(それでも高齢又これまで緩下剤使用されている方もあり)		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	時間、タイミングと100%入居者様のご希望を叶える事は出来ていませんが無理強いことなくその時間が楽しみとなるよう支援しています。	週3回入浴されている。時間や順番は希望に応じて対応し、好まれない入居者へは無理強いせず声掛けの工夫をしたり、時間を置くように支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様が休みたい時間に就寝介助し安心できる声掛けをしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	責任者はホーム長。リーダーを決めてはいますが各々が薬ノートを参照し内容の把握に努めセットしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人様々の力を引き出せるように十分支援出来ているわけではありませんが今分かっている範囲で何が楽しみに繋がり生きがいになるのかを知らうと努力し支援に努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年度は市よりお出かけ券の支給あり(交通機関使用)も配布されその券を生かし外出したりして楽しんでます。ご家族様の外出支援はありますが地域の方々とのお出かけは出来ていません。	散歩や買い物等、日常的に外出する機会を設けている。市からのサービスのタクシー券を利用し墓参りへ行ったり、家族の協力で外出したり、一人ひとりの希望にそった支援がなされている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	すべての入居者様ではありませんが、ジュース代等のお金をお持ちです。一緒に買い物楽しんでます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙そのものは書けなくてもご家族様の名前を書いたものをお渡ししたり、電話に出てもらったりして支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に花を活けたり、暗くないように照明に配慮したり温度や湿度に気をつけたりしています。引っ越すまで古い建物ではありますが居心地良く過ごせるように工夫しています。	季節感のある花が飾られ、湿度や室温を計測し、生活しやすいように配慮されている。民家改修のホームで生活感があり、居心地良く過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の場所でのレクリエーションの時は楽しめるように援助しつつ居室に戻られる方、戻りたい方にも配慮し自分の時間を過ごしてもらえるように工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の希望、ご家族様の希望をお聞きし写真、愛着のあるものを飾ったりして安心して過ごして頂けるように支援していますし、支援中でもあります。	馴染みの物を自由に持ち込むことができる。また、物の配置は、入居者の好みや状況に合わせるなど、居心地良く過ごせるように工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お部屋にはお花の名前を貼りそれを会話で話したり、トイレ等は紙を貼ったりして迷いが無い様に工夫しています。		